

愛知県環境情報紙

環境かわら版

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

平成 28 年 3 月号 (第 238 号)



環境情報が満載P.2~6



2016 愛知環境賞 表彰式



AEL ネット環境学習スタンプラリー



あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業
活動発表・交流会



知多半島生態系ネットワーク形成フォーラム



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



まなびや
もりの学舎 春休み特別企画を開催します！

愛知県では、モリコロパークにある「もりの学舎」において、3月19日(土)から4月10日(日)まで、春休み特別企画を実施します。

特に、3月19日(土)から4月3日(日)までの土曜日及び日曜日は、(一般社団)愛知県産業廃棄物協会と協力して、自然遊び体験「木へのインタビュー」や「紙芝居・絵本の読み聞かせ」などのミニプログラムも実施します。

いずれも参加費は無料ですので、多くの方の御参加をお待ちしています。

なお、期間中に実施する各プログラムは、開催日、定員、参加条件、申込方法等が異なります。詳細は、Web ページを御覧ください。

(<http://pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/morinomanabiya-h28spring.html/>)

春休み特別企画実施プログラム

インタープリターと歩くもりのツアー

かめの池コース

インタープリターとかめの池の生きものにふれあいながら楽しく自然を感じるツアー

森コース

インタープリターと森に入り、自然と人とのふれあいを楽しめるツアー

あそび工房 (工作教室)

紙トンボ

牛乳パックでトンボの形をした「やじろべえ」を作る工作教室

森のフォトフレーム

ダンボールと木の実などでフォトフレームを作る工作教室

光の小箱

牛乳パックで光のオブジェを作る工作教室

ミニプログラム

木へのインタビュー

木の気持ちを想像する短時間の自然体感プログラム

紙芝居、絵本の読み聞かせ

生きもの、木の実、リサイクルなどを題材にした紙芝居と絵本の読み聞かせ

ひろば de しぜんあそび

インタープリターと一緒に気軽に自然を楽しむ短時間のツアー

セルフプログラム 「まなびや探偵団」

もりの学舎の館内でワークシートを入手し、ワークシートに書かれたナゾを解くイベント

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

連載⑪ エコリンクあいちだより

<http://aichi-eco.com/>

エコリンクあいちに日記を投稿している「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の活動を紹介します。

同研究所は、パートナー企業から環境の取組に関する課題を学生に提示し、その解決プランを学生が研究し、パートナー企業へ提案するものです。

○ チーム・ユニーの活動

エーグループ・ホールディングスでは、プライベートブランド商品の中でも、特に環境に配慮した商品を「eco! on」として展開しています。学生達は、この商品を多くの人に買ってもらうことが持続可能な社会の実現につ



ながると考え、どうしたら売り場で手にとってもらえるかを検討し、学生による商品デザインコンペ等を提案しました。詳細は Facebook を御覧ください。



店頭で eco! on を調査する学生

<https://www.facebook.com/kagayaken>

みんなで Let's エコアクション!
あいちエコアクション広報部



環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

あえる AEL ネット環境学習スタンプラリーを開催しました！

愛知県では、多くの県民の皆さんに楽しく環境について学んでいただくため、愛知県環境学習施設等連絡協議会（愛称：AELネット）に加盟する民間や市町村の環境学習施設等と連携して、平成27年6月20日から平成28年2月29日まで「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を開催しました。

このスタンプラリーは、環境学習を行う施設等への来館、環境をテーマとした講座・イベントへの参加により、スタンプを3個以上集めると、抽選で最大5,000円分の図書カードなどの記念品をプレゼントするものです。

約8ヶ月の開催期間中に、5万5千人を超える方が参加され、図書カードなどの記念品の抽選には、3,000通を超える応募がありました。参加者からは、「いろいろな施設などへ行って、幅広く環境のことを学ぶよい機会になった。」「家族で楽しく環境学習を行うことができた。」などの意見が寄せられています。

<講座・イベントの様子>



まなびや
もりの学舎
「おさんぽ de いきものみつけ」



あいち環境学習プラザ
「夏休み環境学習講座
～トンボの標本をつくらう」



衣浦西部浄化センター
「浄化センター見学」



名古屋市南陽図書館
「リサイクル工作」

また、「あいちエコアクション広報部」に任命された地元アイドルグループのOS☆Uのメンバーが、愛知万博公式マスコットキャラクターのモリゾー・キッコロとともに、毎月一回、スタンプラリーの対象イベント等に参加しました。

OS☆Uの各メンバーは、楽しみながら環境学習を行うとともに、エコアクションの大切さなどを発信しました。



あいちエコアクション広報部
OS☆U

詳細は、あいちエコアクションポータルサイト「エコリンクあいち」の「つたえる！日記」のコーナー (<http://aichi-eco.com/reports/>) に掲載されますので、ぜひ御覧ください。



おおのさき
←OS☆U 大野咲貴さん
あいち環境学習プラザ
「夏休み環境学習講座～
音ってフシギ？」



ちゅうのまさみ
OS☆U 蝶野晶美さん →
名古屋市環境学習センター
「廃油石けんづくり」

来年度のスタンプラリーは、6月下旬から実施する予定です。来年度も多くの県民の皆さんの御参加をお待ちしています。

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 活動発表・交流会を開催しました

愛知県では、「あいち森と緑づくり税」を活用し、NPO やボランティア団体、市町村などが行う自発的な森と緑の保全活動や森と緑を題材とする環境学習に対し、「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。これらの団体の成果を披露する「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 活動発表・交流会」を2月13日に愛知県図書館で開催しました。

当日は、約130名が参加し、森や海、川辺などで特色ある活動をする5団体からその内容が披露され、今後の活動に参考となる話を聞くことができました。

また、交流会では、活動の場所や内容でグループ

分けがなされ、グループ内で互いの取組を紹介し合うなど、活発な交流が見られました。

さらに新たな取組として、参加者の皆さんが選ぶ写真コンテストを行い、応募のあった48団体の提出した写真の中から3枚が選ばれました。

発表団体(発表順)

- 1 アジアの浅瀬と干潟を守る会
- 2 (特非)尾張すずなり会
- 3 (特非)ネイヴル
- 4 穂の国の森から始まる家づくりの会
- 5 矢田・庄内川をきれいにする会

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

愛知県庁の環境保全のための行動計画 「あいちエコスタンダード」を改定しました

愛知県では、環境保全のための行動計画「あいちエコスタンダード」を平成10年3月に策定し、事業者・消費者としての立場から、県が行う全ての事務事業について、環境負荷低減に向けた取組を推進しています。このたび平成28年2月に3回目となる改定を行い、この計画の期間、率先行動内容、取組目標等を見直しました。

1 計画期間

平成27年度から平成32年度(6年間)

2 計画の対象

知事部局、教育委員会、警察本部など県の本庁及び全ての地方機関(指定管理者施設を含む。)

3 主な改正ポイント

- ・ 職員や所属における削減努力を反映できる明確な取組項目として「電気使用量」を設定。
- ・ 全職員が一丸となって取り組む4つの行動「重点エコアップ4行動」を新たに設定。

重点エコアップ4行動

- ① 昼休み・不要な場所などの積極的な消灯!
- ② 離席時はパソコンの蓋を必ず閉める!
- ③ 資料作成は必ず両面印刷で(A3も)!
- ④ ごみを捨てる前に分別を再確認!

- ・ その他、職員の意識喚起を促す啓発・取組として「エコアップリーダー」の設置、毎月「重点取組強化キャンペーン」の実施など

4 計画の目標

行動計画の取組に係る目標		短期目標 1年(前年度比)	計画期間全体目標 32年度(基準年度比)
省エネ部門	① エネルギー消費量【事務事業(水道事業・下水道事業以外)】(原油換算・単位面積当たり)	▲1%以上	▲6%
	② エネルギー消費量【水道事業】(原油換算・取水量当たり)	▲1%以上	▲6%
	③ エネルギー消費量【下水道事業】(原油換算・処理水量当たり)	▲1%以上	▲6%
	④ 電気使用量	(▲1%以上)	—
	⑤ 公用車燃料使用量(CO ₂ 換算)	(▲1%以上)	—
省資源部門	⑥ 水道使用量	▲1%以上	▲6%
	⑦ 用紙購入量	▲1%以上	▲6%
	⑧ 可燃ごみ排出量	▲1.16%以上	▲6.96%
温暖化対策推進法実行計画に係る目標		短期目標 1年(前年度比)	計画期間全体目標 32年度(基準年度比)
温室効果ガス排出量【事務事業(水道事業・下水道事業以外)】(CO ₂ 換算)		▲0.96%以上	▲5.8%
温室効果ガス排出量【水道事業】(CO ₂ 換算・取水量あたり)		▲1.0%以上	▲6.0%
温室効果ガス排出量【下水道事業】(CO ₂ 換算・処理水量あたり)		▲0.65%以上	▲3.9%

新計画の詳細は次のWebページを御覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/ecosta280215.html>)

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6240 (ダイヤルイン)



「2016 愛知環境賞」の表彰式を行いました

愛知県では、資源循環や環境負荷の低減を目的とした優れた<技術・事業><活動・教育>を実践する企業、団体等を表彰する「愛知環境賞」を平成17年3月に創設し、昨年までに136件を表彰してきました。

今回で12回目となる「2016 愛知環境賞」では、41件の応募があり、先駆性・独創性、資源循環や環境負荷低減への波及効果、社会全体に対する啓発効果などを総合的に選考委員会で審査した結果、例年にも増して高いレベルの事例の中から、過去最多となる15件の受賞者を決定しました。

2月18日、ローズコートホテル（名古屋市中区）で行った表彰式では、主催者の大村知事と安井香一環境パートナーシップ・CLUB会長から、各受賞者に表彰状とトロフィーが授与されました。



「金賞」のトヨタ自動車（株）



「銀賞」のトヨタ車体（株）



「銅賞」の
全国防草ブロック工業会



「銅賞」の
豊田化学工業（株）

2016 愛知環境賞 受賞者一覧

賞の種類	受賞者	事例の名称
金賞	トヨタ自動車株式会社 (豊田市)	究極のエコカー燃料電池自動車MIRAIの開発
銀賞	トヨタ車体株式会社 (刈谷市)	地域連携による、地域に根付いたESD 子供たちの未来(あした)へつなぐ、ふれ愛パークプロジェクト
銅賞	全国防草ブロック 工業会 (豊田市)	「世界初の防草機能を持つ道路二次製品」
銅賞	豊田化学工業 株式会社 (豊田市)	サーマルリサイクルしていた使用済み有機溶剤(高不要物、高粘着)のマテリアルリサイクル化による業態変革
中日 新聞社賞	おかえりやさい プロジェクト (名古屋市中区)	おかえりやさいプロジェクト
名古屋 市長賞	福田三商株式会社 (名古屋市中区)	独自の技術開発と回収システムの構築による世界トップクラスの古紙回収達成への貢献
優秀賞	株式会社三五 (みよし市)	「三五の森づくり 環境づくり ひとつづくり」
優秀賞	積水ナノコートテクノロジー株式会社 (蒲郡市)	世界初のナノ金属テキスタイル事業(masa加工)による環境配慮型商品の開発と環境負荷の低減
優秀賞	豊田鉄工株式会社 (豊田市)	人と環境にやさしい好触感な自動車内装部品の開発
優秀賞	愛知県立豊田東 高等学校 (豊田市)	持続可能な社会を創る市民を育てる学校全体で取り組むESDの実践
優秀賞	株式会社西浦化学 (蒲郡市)	コンパクトライン実現に向けた自前小型成形機開発と二次加工同期化事業の取り組み
優秀賞	パナソニック エコシステムズ株式会社 (春日井市)	太陽光発電向けパワーコンディショナ用冷却ユニット
優秀賞	矢留工業株式会社 (春日井市)	空調ダクトを軽量化して、省資源・省エネルギー・省人に貢献する「ラインエコ」の開発と普及
優秀賞	株式会社山田組 (名古屋市中区)	都市内農地・農業公園を活用した持続可能な環境・農業・防災体験学習の実践
優秀賞	油圧機工業有限公司 (西尾市)	省エネ・省力・省資源に貢献する世界シェアトップの連続鋳物破砕機(ランナーブレーカー)の開発・販売

資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)

知多半島生態系ネットワーク形成フォーラムが開催されました

「知多半島生態系ネットワーク協議会」は、1月15日、日本福祉大学半田キャンパスで、「動き始めた知多半島の生態系ネットワーク～2年目の取組～」と題して、次のとおりフォーラムを開催しました。

○ ビオトープ・ネットワーク中部の長谷川 明子会長による基調講演『「あたり前」がすごいこと。～知多半島の自然の魅力再発見！～』

日本が生物多様性ホットスポットであることや愛知県が植物の種数が全国で一番多いことなどの紹介、



長谷川会長による基調講演



パネルディスカッション

生態系ネットワークの考え方や知多半島の自然についての解説などがクイズを交えて行われました。

○ 各会員による発表

知多半島臨海部の企業緑地で企業と学生、NPOが協力して取り組むビオトープ整備、東浦自然環境学習の森におけるキツネの生息状況、日本福祉大学美浜キャンパスのマツ枯れ後の植生回復及び現在の生物の生息状況について、各会員から発表されました。

○ パネルディスカッション

参加者から、キツネの食べもの、ヒガンバナやシバザクラなどの観光と自然保護活動の関係、学生を多数参加させる工夫やアニマルパスウェイの今後の整備方針に関する質問が出るなど、多岐に渡る活発な議論が行われました。

〔 自然環境課 生態系ネットワークグループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン) 〕

西三河南部生態系ネットワーク協議会を設立しました

「西三河南部生態系ネットワーク協議会」の設立総会が、2月5日、西尾市クリーンセンターで開催されました。西三河南部地域(碧南市・西尾市・高浜市)の生態系ネットワーク形成を目的に設立され、構成員は25団体であり、この地域の企業が多く加盟していることが特徴です。

設立総会では、人間環境大学の片山幸士副学長が会長に選任され、また活動方針として、「きらきら光る碧い海～西三河南部沿岸が育む生きものたちのつながり～」をテーマとするロードマップが採択されました。

その後、身近な「二の沢川」を題材にした西尾小学校の総合学習の成果発表や国土交通省豊橋河川事務所の矢作川でのヨシ原再生の取組紹介、

矢部 隆 副会長(愛知学泉大学教授)による基調講演が行われました。



西尾小学校児童による成果発表

〔 自然環境課 生態系ネットワークグループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン) 〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成28年3月7日発行(第238号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

今年の冬は暖冬と言われたり、大寒波によって沖縄本島で観測史上初めて雪が観測されたりと天候が安定しない日々が続いて、体調管理には非常に苦労しました。

一人一人が環境について考えなければならない時代です。来年度も気持ちを新たに、引き続き「エコアクション」に取り組んでいきましょう！

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。